



政治をもっと面白く、わかりやすく。

YouTube 動画を配信中!

いけたくチャンネル号外 2018 Nov. 発行

大阪府議会議員

池下卓

1975 年生まれ、高槻市在住。専門学校講師、税理士事務所を経て税理士資格取得。大阪府議会議員 2 期目。都市住宅常任委員会、政務調査役員など歴任。



友だち追加

2025年万博、大阪開催決定!!

11月23日深夜、大阪が誘致を目指す2025年万国博覧会の誘致先が決定した。日本はロシア、アゼルバイジャンという競合国と誘致合戦を繰り広げてきたが、大阪への決定が発表された瞬間、関係者が集まる会場で歓声があがった。

大阪では1970年以来、55年ぶり2回目となる万博開催であり、経済効果は約1兆9000億円と試算される。会場となる夢洲はバブル期に造成が開始され、負の遺産となっていたが今後有効な資産として活用されることになる。



大阪開催決定に歓喜する松井知事と吉村市長 (11/24 付 毎日新聞)

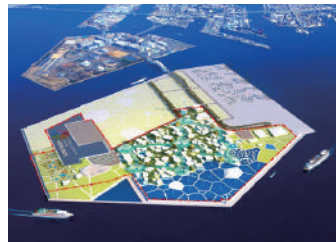
2014年夏、大阪維新の会 大阪府議団 が万博誘致を松井一郎知事に政策提言した。その後、松井知事が誘致を表明し、大阪市の吉村洋文市長とタッグを組み誘致を進めてきた。今後、大阪万博は国家プロジェクトに指定されることになり、大阪の成長の起爆剤となっていくことになる。

大阪万博の会場構想案

基本テーマ 「いのち輝く未来社会のデザイン」に沿って、

世界の人々が交流しながらつくる未来社会を会場全体で表現します。

大阪市の人口島・夢洲内の155ヘクタールを会場とし「空」と呼ばれる屋根付きの大広場を5カ所設置。来場者の交流や、現実の空間の一部に仮想空間を重ね合わせる拡張現実 (AR) などの最新技術を活用したイベントの場にするほか、会場の南には水上エリアを設け、付近にホテルを建設します。



大阪万博会場のイメージ図
会場中心部にバビリオン等、南側水面上に水上施設等、西側緑地にアウトドア施設等をそれぞれ設備。



屋根付きの大広場のイメージ図
AR(拡張現実)・MR(複合現実)技術を活用した展示やイベント場とする。



南西側を望む夕景の会場俯瞰図
淡路島、明石海峡大橋を背景に美しい景観が広がる。

2025 大阪万博の開催計画

テーマ	いのち輝く未来社会のデザイン
会場	大阪湾の人口島「夢洲」
期間	2025年5月3日~11月3日 185日間
達成目標	参加者：150の国を含む166の参加機関会場へ来場者：約2800万人 バーチャル来場者：最大80億人

開催地の決定までのスケジュール

17年9月	正式な立候補申請文書をBIEに提出
11月	BIE総会でプレゼンテーション(2回目)
18年1~3月	BIEが候補地の現地調査(1時間程度)
6月	BIE総会でプレゼンテーション(最終)
11月	BIEが加盟国(※)の投票で開催地が決定

※約170カ国

他の立候補の国と開催都市

国名(都市名)	テーマ
フランス(パリ)	共有すべき知見、守るべき地球
ロシア(エカテリンブルク)	未来の世代へ、包摂的な技術革新
アゼルバイジャン(バクー)	人間の首都